

人・農地プラン

市町村名	集落／地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(〇回目)
館山市	蘭集落／九重地域	H27. 3			

1. 今後の地域の中心となる経営体

経営体 (氏名)	経営者・代表 者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状 〔平成26年度〕 (蘭集落内)		計画 〔平成31年度〕 (蘭集落内)		新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組 年度	活用が見込まれる施策					備考
				経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			規模拡大 交付金	青年就 業給付 金(開始 型)	スー パー・ 資金の 金利負担 軽減措 置	経営体 育成支 援事業	その他 (関連施設 建設に關 する事業、 リース事業 等)	
A氏	X 才	2 (〇) 名	有	水稻	150 a	水稻	200 a	規模拡大 農地の集積 低コスト化 後継者確保	27 27 27 27	○		○	○	○	
B氏	X 才	3 (〇) 名	無	露地野菜	0 a	露地野菜	115 a	規模拡大 農地の集積 低コスト化 新作物の導入	27 27 27 27	○		○	○	○	
C氏	X 才	1 (〇) 名	無	露地野菜	5 a	露地野菜	10 a	規模拡大 農地の集積 加工・直販	27 30 27		○			○	

〔 記載上の注意 〕

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。
- ※ 「経営体（氏名）」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認：氏名」を記載します。
- ※ 計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。（以下の計画欄についても同じ。）
- ※ 「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。
- ※ 「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金（経営資源有効活用対策事業）、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載します。
- ※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

2. 地域の中心となる経営体以外の農業者

(1) 農地の提供等により地域の中心となる経営体と連携する農業者 〔国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。〕

農地の提供等により 連携する農業者 (氏名)	年齢	現状 〔平成26年度〕		計画 〔平成31年度〕		活用が見込まれる施策			備考 (今後の役割等)
		経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経営転 換協力金	分散錯 図解消協力金	その他	
D氏	X才	水稻	60 a	水稻	0 a				農村環境保全活動への協力
E氏	X才	水稻 施設花卉	50 a 5 a	水稻 露地野菜	0 a 0 a				農村環境保全活動への協力
F氏	X才	水稻 露地野菜	56 a 7 a	水稻 露地野菜	0 a 0 a				農村環境保全活動への協力

(2) その他の農業者の状況

経営内容(作目)ごとの経営体数	経営規模の合計 (ha、頭数等)	現状と今後の見込み	備考
水稻のみ	11 経営体	高齢化と農業機械の老朽化に伴い、今後は、中心経営体へ農地の集積を図っていくこととする。	
水稻＋露地野菜	5 経営体		
水稻＋施設野菜＋露地野菜	2 経営体		
水稻＋施設花卉	1 経営体		
水稻＋露地花卉	1 経営体		
露地野菜のみ	2 経営体		

3. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者のあり方)		
取組事項	対応	コメント
複 合 化		■意欲的な農業者への農地集積を積極的に行う。 将来の担い手を育成・確保し、積極的に農地集積を進めることで、耕作放棄地の発生を防止する。また、農地を有効活用していくことで、圏集落の農業生産力・農村環境を保全していくこととする。
6 次 産 業 化		
高 付 加 価 値 化		
新 規 就 農 の 促 進	○	
その他[担い手への農地の集積]	○	

別紙：地域の中心となる経営体に対する農地の集積計画表(工程表)

地域の中心となる経営体の経営農地				左記の経営体に対して31年度までに貸付等が予定されている農地						
経営体 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度
							貸付	作業委託	売渡	
A氏		田	菌府内83		田	菌新関1001	2,965			31
		田	菌平池945		田	菌沢田1009	2,078			31
		田	菌平池946の内1							
		田	菌平池954							
		田	菌平池955							
		田	菌平池957							
		田	菌銭田186							
		田	菌新関989							
		田	菌新関990							
		田	菌新関993							
		田	菌新関996							
		田	菌新関997							
		田	菌新関998							
		田	菌北沢田1035							
		田	菌中田971							

B氏				田	菑川坂717	509		31
				田	菑川坂718	509		31
				田	菑川坂719	509		31
				田	菑川坂720	509		31
				田	菑川坂721	604		31
				畑	菑川坂761	119		31
				田	菑川坂766	1,021		31
				畑	菑川坂767	165		31
				畑	菑川坂768	284		31
				田	菑川坂769	340		31
				田	菑川坂770	76		31
				田	菑川坂771	393		31
				田	菑川坂774	85		31
				畑	菑川坂782-2	84		31
				畑	菑子ノ神790-1	304		31
				田	菑北沢田1036	2,991		31
				田	菑北沢田1037	2,999		31
C氏				畑	菑北沢田1025	510		31

(上記以外の農地の情報) 【可能な範囲で記載してください】

耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	面積 (㎡)	農地の 状態	将来的な農地利用計画

【 記載上の注意 】

※ 「地域の中心となる経営体の経営農地」の欄は、必ず記載します。

※ 地域の中心となる経営体に対して農地を集積する場合は、「左記の経営体に対して〇〇年度までに貸付等が予定されている農地」の欄に記載します。

※ 農地の集積計画が円滑に取り組まれるよう、本計画表の内容について、次ページの農地利用図に記載します。